

平成30年度第5回

## 八王子市スポーツ推進審議会会議録

日 時 平成30年11月29日（木）午後7時00分  
場 所 富士森体育館 第2・3会議室

## 第5回スポーツ推進審議会日程

- 1 日 時 平成30年11月29日(木) 午後7時00分
- 2 場 所 富士森体育館 第2・3会議室
- 3 議題  
スポーツ推進計画の中間見直しについて
- 4 その他
- 5 閉会

---

### 八王子市スポーツ推進審議会委員

市内スポーツ関係	姥 貝 莊 一
	澤 本 則 男
	塩 澤 迪 夫
	鈴 木 紀 幸
	平 岡 孝 子
	藤 木 寿 勝
	前 原 教 久
障害者スポーツ	佐 藤 仁
学校体育関係	齋 藤 道
学 識 経 験	梅 澤 秋 久
公 募	鴨 川 泰 史
	榊 原 あつ子
事 務 局	清 水 秀 樹
	佐 藤 晴 久
	青 木 英 之
	橋 本 宏 子

## 【午後7時00分開会】

○梅澤会長 ただいまから、平成30年度第5回八王子市スポーツ推進審議会を開会いたします。ただいまの出席委員数は、12人で、高田委員、作野委員は欠席となります。条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本審議会は有効に成立しています。  
本日の進行は、お手元に配付の次第のとおりです。

それでは議題に入ります。「スポーツ推進計画の中間見直しについて」です。本件につきましては、これまで審議を重ねてきましたが、今回が最終回となります。事務局からは事前に本件に関する資料が送付されております。それでは、事務局より説明をお願いします。

○事務局 スポーツ推進計画の中間見直しについての説明の前に、資料の確認をさせていただきます。事前送付しましたものが、冊子「スポーツ推進計画事務局修正案」と、「事務局修正案の修正・変更点について」と書いてある、ホチキス止めのA4サイズの資料、A3サイズの八王子市スポーツ推進計画体系図（対比表）です。そして、本日配付したものが、会議の次第と、53ページから55ページの差替え版と計画体系図の差替え版、官報です。お手元にございますでしょうか。

先ほど、梅澤会長からもお話がありましたが、中間見直しに関する審議は、今回で終了といたします。そして、12月7日には、教育委員会に対しまして、答申をしていただきます。本日は最終確認、仕上げを行うということで、会議を進行していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、スポーツ推進計画の中間見直しについての説明に入ります。私からは、前回の審議会と、そのほかの機会に別途、御意見をいただいたものを中心に、取り上げてまいりたいと思います。まずは、資料「スポーツ推進計画事務局修正案」の3ページ目をお開きください。これまでの審議で「みるスポーツ」の「みる」を平仮名に修正することとしましたが、その理由が文章から読み取れないものでしたので、「試合を観戦したり、実際に指導者や他人がやっている姿を見て学んだりする」という記述をし、観戦の「観る」、見学の「見る」の意味を持たせることを表現いたしました。

次に「支える」を漢字で表現することの理由について、事務局として整理しておいた方が良いとのアドバイスをいただいた件です。八王子市の計画の中では、「支える」はあてる漢字が一つしかないため、漢字で統一することといたします。ただし、計画内で国のスポーツ基本計画の文章を引用した場合は、国の表現方法にあわせて平仮名で表記することにしたいと考えています。

続きまして、4ページをご覧ください。中段の※印の部分ですが、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を根拠とした記述であることを明らかにするよう、根拠となる図表を表示するなどの訂正をしました。

ページをめくっていただいて、6ページをご覧ください。第2期スポーツ基本計画の部分について、前回の審議会の時は、文章と表がページをまたがってしまっていたため、分かりにくかったことからページを調節したこととともに、表中の中長期的なスポーツ政策の基本方針④の中で、「2020年」とすべ

きところが「2020」となっていましたので修正をいたしました。

続きまして、8ページをご覧ください。図表3-1 スポーツの多面的効果の部分で、「出典」となっていたものですが、図の内容も異なり、出典と表現することがふさわしくなかったことから、「参考」と訂正いたしました。

9ページをご覧ください。下段の計画の数値目標につきまして、計画策定時の目標値を変更しないことと、計画終了年度の2024年度も同じ数値目標とすることを記載しました。

続きまして、10ページをご覧ください。スポーツ実施率の推移の表について、以前は第5章に入ってから掲載しておりましたが、前に移動させました。また、図表3-4については、計画最終年度の2024年までの目標であることが分かるように表を修正いたしました。

以上が、第1章から第4章の部分についてでございます。ここまでで、一度区切らせていただければと思います。会長、よろしくお願いいたします。

○梅澤会長 事務局から、第1章から第4章までの説明が終わりました。委員の皆さまから、何かご意見等はございますでしょうか。

○委員 記述についてこうした方が良いと感じたところがあったんですけども、1ページの2段落5行目で「～全ての人々の権利」の後にカギカッコが閉じられているんですが、その後の「である」をカッコの中に入れた方が良いかと読んでいて感じました。

○梅澤会長 「平成19年（2007）～」で始まる2つ目の段落の5行目ですね。

○委員 4行目から5行目にかけての記述の中です。

○梅澤会長 これはカギ抜きなので、どこまでが法律の言葉になっているかによって、カギカッコを閉じる部分が決まるかと思うんですけども、どうなっていますでしょうか。

○事務局 ちょっと今確認ができません。おっしゃる通り法律の文章ですので、おそらくここで切れているかと思うのですが、切れる場所を確認させていただきます。

○梅澤会長 では、法律で「～である」まで言葉が入っているならば、カギカッコの位置を後ろに下げる。もし「～権利とし」だとか別の言葉になっているならば、権利の後ろでカッコを閉じるということで御理解いただければと思います。

今日が最終なので気になった点等、遠慮なくご意見いただけたらと思います。

○委員 2ページの「計画の位置づけ」という図がありますよね。一番上がスポーツ基本法で、左側に、国、東京都、八王子市の順になっていますけれど、これだと国と東京都のつながりが見えないんですけど、ここはつながりはないのでしょうか。国と市は真ん中に行くとながるんですけども。

東京都と市もつながっています。しかし、国と東京都のつながりがない。

○梅澤会長　いかがでしょう、事務局。

○事務局　基本的に計画の考え方からすれば、国から順番に下りてくるかと思imasので、線の引き方をおっしゃられる形にしていきたいと思imas。

○梅澤会長　国のスポーツ基本計画から下す線と、スポーツ基本法からもおそらく線が来る形になるかと思imas。両方から東京都のスポーツ推進総合計画が影響を受けていると考えられるのですが、いかがでしょう。

○委員　国のスポーツ基本計画というのが、スポーツ基本法の下に来たほうが良いと思imas。

○梅澤会長　位置づけとして横に枝のように折れている国のスポーツ基本計画を、スポーツ基本法の下に置いた方が良いのではないかと。

○事務局　そうするとスポーツ基本法から一本の線で、国、東京都、八王子市を結ぶという・・・

○委員　私は条文からいって、いわゆる計画自体がスポーツ基本法に則ってきているんじゃないかと思imasですね。

○事務局　市の計画がスポーツ基本法によって作らなければならないものだとすると、今の縦のラインを残さなければならないと思imasですね。条文を見てみないと・・・ただ国と都の計画がつながっていないのはおかしいかと思imasので、そこには線が必要かと思imas。

○委員　法律の中に、市町村にも計画を作るという条文があると思imas。

○梅澤会長　となると、まさに基本法の下に八王子市スポーツ推進計画があるという、一本のラインが必要になるかと思imasので。スポーツ基本法と国のスポーツ基本計画がつながっているという線とも読み取ることができるので。一方先程、東京都と国のつながりが見えないのはどうかという話がありましたけれども、そのつながりは改めて入れていただいた方が良いんじゃないかと思imas。

○事務局　すみません。先程の1つ前の1ページのところなんですけれども確認をいたしまして、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、すべての国民が～」と続いている文章を抜いていました。

○梅澤会長　なるほど。「～であり」なんですね。

○事務局 はい。どちらとも言えなくはないんですが・・・

○梅澤会長 我々が論文で引用する場合は「～権利であ」までで切ります。ですがそれは一般的な書き方ではないと思うので、「～権利」までで切るとは決して悪いことではないと思います。「～権利である」まで入れると、誤引用になってしまうので、「そこまで入っていない」と指摘されてしまう原因になりますね。

○事務局 意味のあるところで切るとすると、「～権利」までで切った方が良いということですね。

○梅澤会長 「～権利」までで切った方が、きりは良いかと思います。

○事務局 それではこのままでいかせていただきたいと思います。

○委員 3ページの「4 計画におけるスポーツの定義」の中の「する・みる・支える」の「みるスポーツ」についてですけれども、下の写真で「みるスポーツ」のところにパブリックビューイングをやっているところが出ているかと思うんですが、これはパブリックビューイングで見ているから「みるスポーツ」なのか、テレビの画面を一人で見るとも「みるスポーツ」なのか。これに限らず、一流アスリートがやる試合を見るのも、散歩しながら草野球をやっているのを見るのも含まれるのか。解釈についてです。

○梅澤会長 おそらくこの下の写真は、色々なスポーツの例示を写真で表しているのかなと解釈できるので。「みる」もいろんな「みる」があるよと上に言葉で書いてあって、例えばこういう観戦型、間接観戦の見るもあるよ、という例示なのかなと私は解釈したんですが。ここにすべて入れてしまうと、例えば他人がやっている姿を見て学ぶという絵も必要になってきたりだとか、かなり多くなってしまふかなと思います。

○委員 写真を入れるうんぬんよりも、ここにたまたま出ているもので、そこから解釈すると「みる」というのは、一人でテレビなどを見るというのが入るのか、またそういったものをすべて入れるということではなくて、これから想像されることには、そういった捉え方もあるのかなという考え方なんです。

○梅澤会長 個としてみるスポーツということですね。ではむしろ、みんなで見るスポーツというのを別の形で入れておくことによって、「みる」の解釈が広がる可能性があるかな、とも思いますね。もしここを具体的にこう変えた方が良いという、具体案があれば出していただいで。今日確定をしなければならぬので。

○委員 一般的な人が捉えた時に、みるスポーツといえば、自分が見るスポーツ、みんなで見るスポ

ーツという考え方をするんじゃないですか。

○委員 それは良いですが、スポーツ実施率を集計しようといった場合に、例えば散歩をしていて野球を見たことなどを含めるかどうか、普段は深いことを考えないと思うんですが。

○梅澤会長 おそらく観戦の「観」というのと、「見」という字、両方あるということを意図的に上の文章で二つの漢字をあてて、色々な「みる」があるから平仮名にしました、というご提案だったかと思います。「～たり、～たり」、しかも「学んだりするといった」という形で、それ以外の「みるスポーツ」も存在するという表記になっていて、いわゆるグレーの表記になっているので、大きな問題は無いと私は解釈するんですが。

○委員 私も文章は全く問題ないと思っているんですけども、「みるスポーツ」について個々の判断で解釈がだいぶ変わってくるのかなと。例えば一人でテレビを観ているのも「みるスポーツ」です。一流のスポーツ選手でなく、空地で野球などをやっているのを見るのも「みるスポーツ」ということで、その辺がどうかと思っただけです。

○梅澤会長 特に変更をお願いしたいというご意見ではないということでしょうか。

○委員 はい。その辺がどうかと思っただけです。

○梅澤会長 今回はスポーツ推進計画の立案なので、まさに運用場面で色々な「みるスポーツ」があるんですよ、ということをこれから現場に向けて発信していく必要があるということをご理解いただければと思います。

○事務局 すみません。ひとつ前の話で、スポーツ基本法第10条第1項についてですが、「都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。」というのが条文にあります。そのため、法律から直接八王子市スポーツ推進計画に下りてくるということと、国の計画から下りてくるものが当然必要だろうと思います。国の計画と東京都の計画ももちろんそういうことであると思いますので、そこには関連を表す線が必要かと思います。また、東京都の計画も国の法律の影響を受けていないといけないので、横の線も必要かと思います。

○委員 2ページの図表1-1ですね。国のスポーツ基本計画から東京都スポーツ推進総合計画に向けての矢印がまず必要だろうと。加えてスポーツ基本法から東京都スポーツ推進総合計画に向けての横の線も必要だろう、ということで追記をお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

○梅澤会長 1章はよろしいでしょうか。では2章以降で何かご指摘がありましたらお願いいたします。

○委員 2章の4ページ2段落目で、この文章で内容が分からなくもないですが、「子どもの体力の向上」のところの2行目から3行目にかけての部分で、「体力の低下の原因としては、少子化により子どもの人数の減少」とあって、子どもの人数が減るとなんで子どもの体力が低下するのかなど。その後のカッコの中に「兄弟や仲間の減少」とあって、たぶん遊ぶ機会が減るということを言いたいんじゃないかと思うんですけども、次の2番目、3番目にいくとカッコの中が「場所の減少」であるとか「自由時間の減少」というのが入っています。なので、「子どもの人数の減少」のカッコのところは「兄弟とか仲間で遊ぶ機会が減るから」、という風にしたらどうかと思うんですが。

○梅澤会長 4ページの子どもの体力の向上の部分で、体力の低下の原因ですね。私もここを見落としていたんですが、実は都内で体力が高いのは港区とか千代田区とか、実は遊び場が広い場所ではない地域の子どもの体力が高いことが報告されているんです。2013年の学力テストと相関が高いものに、親の収入があったのと同様の報告が近年されてきていて、つまり仲間とか時間とか空間が足りないといったものではないものが、実はかなり影響を与えているということが分かってきているんです。ただそれを書いてしまうともともこもないので。八王子は残念ながら都内では低い方にいます。それは納税額の平均値で算出できてしまうんですね。となると、近年の科学的な事象をここであげたところでどうにもならない状況であり、一方で少子化による子どもの人数の減少がどのくらい影響を与えているのかとなった時に、実はそんなに影響がないんじゃないかという意見もあります。一つ目については私もかなり懸念しているところではあるんですけども。ちなみに港区だとか都市部が高い要因は、習い事を小さい頃からさせていることが一番の要因となっています。つまり子どもが少ないことが単純に体力テストの値には影響しないということですね。ここの3行をどうしましょう。

○事務局 ある意味ここであげた3つの理由というのはすべて当てはまらないということですね。

○梅澤会長 2、30年前の要因にはなりました。今の要因にはおそらくならないという解釈です。ちなみに2、30年前学者たちが言っていたのは、誰も調べていないことを勝手に推測で言っていた内容になります。今のデータは、すべて色々なものの相関係数だとか、かなり科学的に数字の裏付けをとってやっていますので。

○委員 この前提がスポーツ庁が行っている「全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると・・・」と書いてありますので、理由のところまで調査は書かれているのでしょうか。理由はどこから書かれているものなのでしょうか。

○事務局 理由を含めスポーツ庁からの報告かどうかということですね。

○委員 はい、もしこの部分がスポーツ庁からの報告だとすれば良いんだと思うんですけども、



どこか違うところから理由を引っ張ってきたのであれば、会長がおっしゃったことをお聞きになった方が良くないかと思います。

○梅澤会長 もしかしたら数年前までは言っていたかもしれませんが、今は出してないと思います。通常そうした理由をあげている学者たちは、スポーツ庁の委員になっていますので。おススメは、先程委員からお話があった3行の部分を削除してしまうというのが一番良いかと思います。勝手な憶測で書くのは良くないので。

○事務局 報告書については確認いたしますけれども、基本的に削除の方向で。

○梅澤会長 その方が良くと思います。仮にそれが書いてあったとしても誤りです。

○事務局 それでは削除させていただきます。

○梅澤会長 ちゃんと運動させている家の子の体力は高いです。

○事務局 「運動しない児童・生徒の割合は減少している」と書いてありますね。

○梅澤会長 ちょっとここ数年は体力低下よりも、横ばいから上がってきていますので。あまりネガティブなことは言わない方がよいかもしれないですね。ここは削除してもつながる内容かと思われるので。

○事務局 問題ないと思います。ありがとうございます。

○委員 子どもの体力の向上ということでは、スポーツ庁が昨年行った幼児の外遊びの調査で、幼児の時外遊びの時間が長いほど、小学校低学年の時の運動能力が高くなるという結果があるんです。体力の向上という事であるのならば、そういったことを入れると良いかなと思いました。

○梅澤会長 今日はもう内容を確定したい会議なので、どんな言葉が入るかは、かなり具体的なものにした方が良くと思います。

○委員 であれば、入れないで良いと思います。下に「子どもの頃にスポーツ習慣を身に付けることは・・・」と書いてありますから。この部分が凄く大事なことだと思っておりますので。

○委員 もう一点よいですか。4ページから5ページにかけて関連性があるんですけども、4ページの一番最後の段落で「高齢者の生きがいづくり」の項目があって、これが5ページの「地域コミュニティの再生」の項目の最後の方の段落に、「高齢者が生きがいを感じる時は・・・」ということで、どういう時に生きがいを感じるか書いてあります。これは当然、地域コミュニティの再生の中でも重要なこ

とだと思っんですけれども、「高齢者の生きがづくり」というのが項目としてちゃんとあるんですから、そちらへ入った方が良かなと思っました。

○梅澤会長 「高齢者の生きがづくり」の段落が4ページの生きがづくりと、5ページの地域コミュニティの再生のところど少し重複というか、繰り返しが存在しているということですね。

○委員 どちらかというど4ページの方が数字的なものがいっぱい出て来ているんですけれども、具体的な中身が5ページの方に入っているものですから。

○梅澤会長 5ページの「また・・・」からの5行について、そっくりそのまま4ページの高齢者の生きがづくりの方へ移動が不可能ではないということですね。

○事務局 5ページの「地域コミュニティの再生」の部分で2段落目の「また」以降の文章のなかで、「また」より前はコミュニティに関する内容な気がします。「また」以降は個人的な感情な気がするんです。「また」より前はそのまま残し、それ以降は4ページに移動した方が良と感じます。

○梅澤会長 各項のタイトルが例えば5ページは「地域コミュニティの再生」なので、文章の最後のところを見るとどちら側につきやすいものかというのが見えやすいと思っんです。5ページの上の段落の最後を見ると、「地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしてきた、としています。」となると、やはり地域コミュニティの下りなかなという感じはします。逆に4ページのタイトル自体を変えてしまうというのも手かもしれません。4ページの「高齢者の生きがづくり」という言葉を「健康寿命の延伸」だとか、違った言葉に変えてしまう。4ページの最後の方は「健康寿命」という言葉が繰り返し言われているので、健康寿命を延ばすというまとまりにしてしまって、5ページの方を「地域コミュニティの再生と高齢者の生きがづくり」という風に並列にしてしまうと、比較的すわりは良くなるかもしれません。実は4ページの方では生きがいについてはあまり書かれていないことに気が付きまっして。繰り返し書かれているのが健康寿命なので。いかがでしょう。4ページの「高齢者の生きがづくり」のタイトルを「健康寿命の延伸」というようにして、一方で5ページの「地域コミュニティの再生」の部分では、地域コミュニティの再生にかなり高齢者の力を活用しよう、という文章だと理解できるので「地域コミュニティの再生と高齢者の生きがづくり」というタイトルにしてはいかがでしょう。タイトルを2つ入れるのはどうなのかという意見はあるかもしませんが。そのまま文章自体は変えずにつながるのではないかと思っます。いかがでしょう。よろしいでしょうか。

○事務局 皆さんよろしければ、そのようにさせていただきます。

○梅澤会長 では、タイトルを変えるということで。4ページは「健康寿命の延伸」。5ページの真ん中のところのタイトルは「地域コミュニティの再生と高齢者の生きがづくり」ということでよろしく願っいたします。

では、5ページ、6ページ以降でいかがでしょうか。4章まですべてご覧いただき、かなりページ数ありますので、どちらにご指摘いただいても結構です。先程事務局から出されたA4サイズ1枚の修正点・変更点、ここが改めて書き直されたところがピックアップされておりますので、それをご覧いただくと前回まで審議した内容以外の部分が見えるかと思います。

○委員 22ページの5年間の取り組みのところで、2つ目の「体育協会を含めスポーツ関係団体と連携し、シニア育成の教室を実施」とあるんですけども、「シニア育成」という言葉が、私どもは「シニアスポーツ振興事業」をやっているんで、ジュニアは育成という言葉を使っているんですけども、シニアの場合ですと「シニアスポーツ振興のための教室」とかになると思ったんですが。

○梅澤会長 ジュニアには育成という言葉が合う気がしますけれども、シニアを育成するとなると違和感を感じますね。もう一度、シニアスポーツ・・・

○委員 シニアスポーツ振興事業というのをやっておりますので、ここは「シニアスポーツ振興のための教室を実施」が良いかなと思います。その下の今後の主な取り組みの中の部分も、「シニア育成」という言葉がありますので変更していただければ。

○事務局 そのように修正をさせていただきます。ありがとうございます。

○梅澤会長 事業No. 1-8の中の「シニア育成」を「シニアスポーツ振興」にさせていただくということでお願いします。多方面の専門家の方にお集まりいただいておりますので、ぜひご自分の専門の部分を中心にご確認いただけたらと思います。

では第4章まではよろしいでしょうか。もしお気づきの点がございましたら、この会が終わるまでに改めてお伝えいただけたらと思います。では、第5章以降を引き続き事務局から説明をお願いします。

○事務局 続きまして第5章以降を説明させていただきます。13ページをお開きください。子どものスポーツの部分に、幼児期の記載があったほうが良いのではないかと指摘が、子ども家庭部の担当課からございました。このことをうけまして、子どものスポーツの「現状と課題」の冒頭に、幼児期に運動習慣を身に付けることの重要性などを、スポーツ庁Web広報マガジンから参考引用し掲載いたしました。また、スポーツを実施する子どもと実施しない子どもの二極化傾向について、笹川スポーツ財団の「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2017」を引用し、14ページに掲載いたしました。これは、委員からの指摘によるものでございます。

それと、申し訳ございません。下段の表、小学5年生、中学2年生の数値が入っている表のタイトルが取れてしまっていました。正しくは、「図表5-1-2 小・中学生の運動への意識(八王子市。平成24年度、平成29年度)」です。

続きまして15ページをお開きください。下段に「早寝、早起き、朝ご飯」のコラムを復活させました。こちら申し訳ございません。このコラムのキャプションが16ページにずれ込んで印刷をされてしまい

ましたので、修正をさせていただきます。それとともに、下段の表のタイトルが、表の後ろに隠れてしまっております。タイトルは「図表 5-1-3 余暇活動の参加人口(2012年、2017年)」と訂正させていただきます。

ページをめくっていただいて、17ページをご覧ください。図表 5-1-4 はスポーツ実施率のもととなる市政世論調査の結果でございます。平成 25 年以降は、国や都の調査方法との整合性を図り、本計画における「スポーツ」の定義により調査を行いました。平成 24 年と平成 30 年とでは質問の内容が異なっているため、このページの下段に記載をいたしました。

続きまして、ページが少し飛びまして 23 ページをお開きください。「ダイバーシティ」の説明文章について、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会からの参考引用であることを明記いたしました。また、24 ページの今後の主な取り組みについて、これまで、「ライフステージ等に応じたスポーツの推進」としていたものを、「No1-12 働く人のスポーツ推進」と「No1-13 親子参加型のスポーツの場の提供」を分けて設定いたしました。ここで設定した「親子参加型のスポーツの場の提供」は、これまでの「成人のスポーツ」のカテゴリーから移動してきたもので、「乳幼児の子育て世代が参加しやすいスポーツプログラムを実施」も含めて整理し、親子に関する部分を集約した形としました。

ページが飛びまして、32 ページをお開きください。5 年間の主な取り組みの中に「八王子市施設予約システムの改善を実施」を追記しました。これは、前回まで「基本施策 3. スポーツ情報の充実」の中に記載していたものですが、内容の見直しの中で「施設予約システムの充実」のカテゴリーが削除されたため、記載するのであれば、この場所の方が良いのでは？との、委員からご指摘を反映したものでございます。

ページを 2 枚めくっていただきまして、35 ページをお開きください。「事業 2-7 都立特別支援学校との連携」についてですが、先日、都立八王子東特別支援学校を訪問いたしまして、校長先生、副校長先生とお会いしてきました。今後、学校施設の使用をはじめ、イベント開催等での市との連携について協力いただけるとのことを確認いたしました。

続きまして、42 ページをお開きください。地域のコミュニティ活動などの交流の場である、市民センターについてのコラムを追記いたしました。

ページが飛びまして、50 ページをお開きください。高尾・陣場地区東京都自然公園利用ルールの紹介記事について、東京都が作ったルールの「一部抜粋」であることから、その表記を入れ、この記事の中に出てくる陣場は東京都のルールに従いまして「馬」ではなく場所の「場」の字を使用することで整理しました。

ページをめくっていただきまして、51 ページをご覧ください。基本施策の 5、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクションとレガシー」の部分です。52 ページの「今後の主な取り組み」の中で、これまで「ライブサイト等の設置」として設定していたものを「No5-1 パブリックビューイングを協働で開催」と変更しました。また、「No5-2 オリンピアン・パラリンピアンとふれあう機会の創出」を追加しました。

続きまして、53 ページから 55 ページの説明をいたします。資料を送付させていただいた時点では、担当課との調整がまとまっていなかったために、網掛け表記のままとさせていただきますが、修正いたしましたので、本日お配りしたものでご確認いただきたいと思います。「支える」スポーツの展

開の中で、ナショナルトレーニングセンター等の誘致の検討についての記載がありましたが、担当課との調整の結果、内容を修正することとなりました。また、計画策定当初は、東京 2020 大会の自転車競技のロードレースの開催が決まっていなかったため、計画に盛り込まれていませんでしたが、今回の改定で「東京 2020 大会競技に関連した気運醸成イベントの開催」ですとか、「聖火リレー・自転車競技ロードレースの開催支援」についてなどを盛り込むこととしました。

ページが飛びまして、59 ページをお開きください。下段の表中の「企業・大学」の例を「実業団クラブ」から「実業団チーム」と修正しました。また、役割の中にプロスポーツチームの役割を想定し、「市外における本市の PR 活動を行う」を追記しました。

以上で第 5 章以降の部分につきまして、説明を終わります。

なお、事前に本日欠席の委員からもご意見をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。1 点目は前回委員からご指摘をいただき、新たに追加した 14 ページ 1 段落目の子どもの二極化の部分についてですが、記述する場所を 13 ページの 2 段落目に入れた方が良いのではというご意見です。幼児期の運動習慣の重要性、そしてスポーツを実施する子ども、実施しない子どもの二極化といった現状・課題を述べたうえで、小・中学生の体力・運動能力の数値の説明につなげる文章の流れをご提案いただきました。

○梅澤会長 では、その部分から皆さんと話し合っていきましょう。ご指摘があった部分を踏まえて、13 ページの中間から 14 ページにかけてですが、幼児期の体力のことに加えて、二極化傾向のところですね。14 ページの一番上の 5 行部分をそのまま 13 ページの 2 段落目のところに入れてしまった方が良いのではないかとご意見です。いかがでしょう。据わりは全く悪くないかなと思いますね。強いて言うなら、引用だと思うんですけども、13 ページの第 1 段落の最後の「言えます」が漢字で、持ってこようとしている 14 ページの 1 段落目の「いえます」が平仮名になっているということですかね。これは前が引用かもしれないので。※ 2 と書いてあるので。もしかすると参考引用という書き方をしているので、参考程度であるならばこの「言う」という漢字を平仮名に変えてもまったく問題ないと思います。

○事務局 ちなみにスポーツ庁のウェブマガジンでは「言う」が漢字になっております。

○梅澤会長 全部を把握しておりませんが、「いう」というのはこの計画の中で、漢字と平仮名どっちを使っていますでしょうか。ある程度、整合性を持たせた方が良いかと思いますが。

○事務局 基本は平仮名を使っております。

○梅澤会長 おそらく国や東京都は公文書辞典に基づいて表記を定めていると思います。そのためそこを揃えるか、八王子独自の考えで「いえる」の表記を入れてしまうか。ここの部分は※ 2 番と書いてあるので、引用部分はこのままでも構わないかなと思いますが。皆さんどうでしょう。「いえます」の表記

について。

- 委員 もし違うようであれば、大きい文章ですがカギカッコでくくってしまって、出典が出てくれば問題ないと思います。
- 梅澤会長 ウェブマガジンからそのまま抜いたものであれば、おっしゃるとおり問題ないかと思ひます。
- 事務局 出典部分をカッコでくくるとのことですね。その方が分かりやすいですかね。
- 梅澤会長 あるいは、5行以上の長い引用の場合は、図表と同じように扱うという学術誌が多いように思ひます。つまり文の中にスポーツ庁ウェブ広報マガジンでは、幼児期の運動について以下のように述べています、という形で1行空けてこの部分を全て抜くという方法があります。そういう形にすれば、字体を変えても良いと思ひますけれども、明らかに別物というのが分かるようになると思ひます。また接続詞は「また」ではなくて、「一方」として「笹川スポーツ財団の「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2017」によると・・・」とすると、二極化傾向の話への据わりが良くなるかと思ひます。文章で引用を繋ぐ形ですね。
- 委員 スポーツ庁も大事ですが、笹川財団の研究はすごく色々な大学の先生がやっていたらっしゃるので、非常に素晴らしい研究だと思ひます。どちらをメインにしても良いんじゃないかと思ひます。そういう意味では会長がおっしゃられたように、笹川財団の方の文章を先に持って行って、参考としてスポーツ庁の内容を抜き書きにしても良いかと思ひます。
- 梅澤会長 ここのタイトルが「子どものスポーツ」の「現状と課題」なので、現状について詳しくいつているのは、14 ページの上の段のほうかと思ひます。今体力の低下以上に問題なのは、体力、運動能力の格差なので、そのことを謳っているのはまさに14 ページの上の段かと思ひます。なので「また」を切ってしまうと、いきなり「公益財団法人笹川スポーツ財団の・・・」という形で書き出してしまふ。これを冒頭に持って来てしまった方がむしろ据わりが良いかもしれません。二極化傾向にあるといえまふ、つまりこれが現状の課題である。そして段落を変えて、「スポーツ庁ウェブ広報マガジンによれば、幼児期の運動の重要性について以下のように述べられています」。その後はそっくりそのまま引用ですよ。
- 事務局 こちらは最後のところが「・・・大きく関わって言えるのです」とウェブマガジンで出ていたものを、「・・・言えます」と変えているところで、そっくりそのままではないという状況です。
- 梅澤会長 では「幼児期は・・・」からは全部引用ですか。
- 事務局 「幼児期は・・・」以降の部分も、抜粋し文字数を調整しています。

○梅澤会長 では、完全引用ではないですね。さっき言ったように、図表のように抜くというのはやめた方が良いでしょう。いずれにせよ、笹川スポーツ財団の方を最初に持って来て、二極化傾向の話を入れ、「幼児期は・・・」以降の話をそのまま後ろに持って来て、悪くは無いと思います。ただ次の段落、「小・中学生の体力・運動能力については・・・」以降の部分の据わりが悪い気がして、これは八王子市、東京都、全国におけるという事ですよ。

○事務局 そうです。

○梅澤会長 たとえば13ページで「小・中学生の体力・運動能力の実態は図表5-1-1のとおりです」。ここでいう実態というのは、5年前との比較であったり、30年前との比較も表すという意味で使うと。現状という言葉ですと、現在だけということになってしまいますし、状況という言葉でも良いかもしれませんが。「状況」あるいは「実態」という言葉でつなぐと比較的据わりが良くなりそうな感じはしますが。もしご意見が無いようでしたら、改めまして確認ですが、14ページの冒頭の5行を13ページの子どものスポーツの現状と課題の頭のところに移動させていただき、その次に「幼児期は、6歳までに・・・」以降の参考引用が入ってきて、段落が変わって「小・中学生の体力・運動能力の状況は図表5-1-1のとおりです。」という形でつなぐということによろしいでしょうか。

○事務局 はい、ありがとうございます。では、欠席の委員からのご意見をもう一つ紹介させていただきます。2点目は、本計画における子どもの定義が0歳から18歳未満となっているにも関わらず、高校生に関する記述がないため、それについて追記した方が良いでしょう、とのご意見です。今回、幼児期の記述を入れたことによって、高校生の部分がない形となってしまいました。これについて反映させる方向で修正したいと考えておりますが、委員の皆さまのご意見をお願いいたします。

○梅澤会長 全国の体力・運動能力の状況調査は小学校5年生と中学校2年生で行われる社会調査なんですね。それ以外はサンプル抽出の調査項目なので、おそらく八王子市の高校年代の平均値は出てこないと思います。その辺についてどのように記載するか、という事になると思います。

○事務局 案としましては、笹川スポーツ財団のスポーツライフデータの中で、見出しとして「12歳から21歳の運動スポーツ実施レベル」という調査の部分がございまして、その表の中で運動実施レベルのレベル0（非実施者）とレベル1（年1回以上、週1回未満）のカテゴリーの表がございまして、中学校期、高校期、大学期、勤労者を比べている図がございました。その部分で中学校期と高校期を比べると、レベル0とレベル1の部分がどちらも中学校から高校に行くにしたがって増加していると。要するに運動しない人が中学生よりも高校生の方が増えてしまっているという記述がありましたので、その部分のところから、中学校から高校に上がる時にレベル0とレベル1の増加率が大きいという記述を、短い文章の中で触れることで、先程の委員のご指摘に答えられたらと、考えているところです。

○梅澤会長 なるほど。ありがとうございます。そのデータは私も持っているんですけども、実は運動

部から離れる生徒が増えるからというのが背景としてあるかと思うんですが、そのことはおそらく 14 ページの運動部活動についてのスポーツ環境を再構築するという部分につながってくるかと思います。ただ、ここに書いてあるのが八王子の市立学校のことだとすると、おそらく中学校までに限定する形になってしまうので、あくまで参考という形で書いていただくのが良いかなと思います。なぜかという、八王子市のデータではないので、「一般的には中学生から高校生になるにつれてこのような傾向がみられるため、豊かなスポーツライフにつなげるよう・・・」という形で、そこは八王子市以外の外部から持ってきたデータであることを、追記していただいた方が良いかと思います。委員の皆さまいかがでしょうか。

○事務局 課題として書いてしまうと、次に取り組みが必要になってくるかと思います。生涯学習スポーツ部では、たしかに子どもから大人までを対象にしますが、市教育委員会は一般的に市の小・中学生を対象としていますので、高校生対象の施策を何かできるかというところはおそらく厳しいのが現実かと思います。

○梅澤会長 そうですね。市では高校生のデータを持っていないということもありますので、一般的に中学生から高校生になるにつれて運動への参加頻度が低くなる傾向にある、というような形で。ちなみに余談ですが、子どもの頃に運動していても、大人になって運動するかどうかはほぼ無関係で、ただし子どもの頃に運動していて、大人になっても運動好きであると、かなりの確率で運動を継続する。つまり運動嫌いをつくりたくないような指導をするというのが、1つのポイントになるかと思います。これは順天堂大学の鈴木先生の研究なんですけれども、かなりスポーツ庁に影響を与えています。ただ運動嫌いを減らすという言い方は間違いで、運動好きを育成するというのが正解となります。その言い方をしてしまうと、運動嫌いがいてはならないという話になってしまうので。運動嫌いを小・中学生から、子どもの頃からつくりたくないように育成し続けることで、豊かなスポーツライフを広げていくことが重要かと思います。その話に加えると、中学校での過度なスポーツ熱は、高校に行ってスポーツを辞めたいと思う子どもをつくる1つの要因だと言われています。これは計画に入れるとかそういった話ではないんですが、参考に。

○事務局 ありがとうございます。欠席の委員からのご意見は以上です。

○梅澤会長 その他、委員の皆さんからご意見はございますでしょうか。私からもお話をさせていただきます。17 ページで先程説明があったとおり、図表 5-1-4 は平成 24 年の図表と平成 30 年の図表が分かれているにも関わらず、タイトルが 1 個になっています。パッと見てどっちがどっちか分からないという問題を抱えています。これは「図表 5-1-4 平成 30 年スポーツ実施の状況」、下に「図表 5-1-5 平成 24 年スポーツ実施の状況」と、分けなければならないものだと思います。先程話に出たように、質問項目が違うとなると、ますます図表としては違うものになります。質問項目が多少異なるものであれば、18 ページの図表についても図表 5-1-6、5-1-7 としたほうが分かりやすいかと思います。タイトルの中に 2 つ並列になっていて、図表も 2 つある段階でどっちがどっちか分からなくなってしまいますので、一目瞭然に図表のタイトルはすべきだと思います。



○事務局 そのように修正させていただきます。

○梅澤会長 そうなると図表タイトルが2個増えたことになるので、18 ページの下の段の図表は5-1-8になることとなりますね。それ以降2個ずつずれることとなります。

○委 員 14 ページの図表5-1-2で単位が抜けています。

○梅澤会長 図表は絶対に単位が分からないといけないので、ここはパーセントですね。

○委 員 23 ページの中頃に「本市には、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ベトナム・・・」となっていますが、この韓国と朝鮮の間だけが「・」になっているんですが、これは何か理由があるのでしょうか。

○梅澤会長 おそらく戦前から朝鮮半島の人を日本に入れた名残かと思うんですけども。朝鮮学校というのが残っているのがまさにその名残かと思います。

○事務局 担当課と調整させていただきます。

○梅澤会長 その結果は一任という形でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

○委 員 36 ページの「今後の主な取り組み」の事業 No. 2-12 の中で概要に「夏季小学校のプール開放事業の利用促進」とありますが、この事業の目的というのが小学校のプール開放ではあるけれども、一般の大人も含んでいると思うんです。しかし、実際には利用者の90パーセント以上が小学生なんです。ですから、学校の授業が空いてる時間帯でプールを貸して頂いてこういう事業をするのであれば、社会人でも利用が可能なんですよ、ということがPRできればというふうに思うんですが。この計画のなかではこういう表記にしておいて、実際にこれを運用する時のチラシとかポスターには、今言ったような表記をしていただくというのでも良いかとは思いますが。

○梅澤会長 たとえば冒頭に「地域への」という言葉を入れて、「地域への夏季小学校のプール開放事業の利用促進」という形にすると、子ども達だけでなく地域全体にどのような表現になるかと思いますが、いかがでしょうか。

○委 員 良いですね。

○事務局 実際にその学校の子だけに利用者を限ってはいません。ただ小学校のプールなので、大人がプールに入るためだけに来るかというとなかなかないので、来る大人というと、子どもの保護者なり引率の人というふうになるんだと思います。

○梅澤会長 以前ここで審議をした一部のプールが今後修繕を出来ない可能性もあるという話がありましたが、その際ますます既存の施設を利活用することが求められると思います。つまり地域のを潰してしまうのであるならば、地域でしっかり市の施設を開放するという事も明記しておく必要があるのかなと思います。この部分いかがでしょう。「地域への夏季小学校プール開放事業の利用促進」という形で。よろしいでしょうか。

○事務局 はい。「地域への」という言葉を追記させていただきます。

○梅澤会長 あと「夏季小学校」の後の「の」はいらないと思います。「の」だらけになってしまいますので。

○事務局 ありがとうございます。

○委員 17 ページ、18 ページの図表についてお伺いします。17 ページの図表5-1-4で全体の人数が2,644人になっていて、男性1,213人と女性が1,406人を足してその数字になるかと思ったんですが、数字が合わなかったんです。

○梅澤会長 おそらく無効データをカウントしなかったんだと思われます。無効データというのは男女のチェックが抜けていても何歳代という部分には答えているとか、そういったものを全体以外の部分には反映させているのかもしれませんが。回答に漏れがあるものを全部切ってしまう方法と、該当項目だけカウントしない方法とあるんですが、おそらく後者を選択しているのかなと思います。

○委員 男性と女性の合計が下の年代別の人数とは合っていたので、全体も揃えた方が良いのではなかったんですが。

○梅澤会長 そうなると出典元の市政世論調査の担当部局の問題になりますね。書き換えが可能かどうかはこれも引用なので。あくまでも参考データなので。こういうエラーが見つかったということは担当部局に伝えた方が良くかもしれません。ありがとうございます。

○委員 45 ページのコラムのところなんですが、下から6行目の「市町村総合体育大会のように入賞することが難しいのか・・・」の「か」が「が」だと思います。

○梅澤会長 「か」に濁点をつけていただいて「が」に直していただくようお願いします。

○委員 51 ページの一番上のところで5-1、5-2、5-3で「みる」「支える」「する」スポーツとありますけれども、これまでスポーツを「する・みる・支える」ということでずっと来ていて、なぜここでこの順番なのかなと思ひまして。

○事務局 元々の計画もこの順番になっています。おそらくですが、オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてという中で、オリンピックに出られる人というのはごく限られた人だけで、大多数の人が関わりが大きいのが「みる」部分なのかなと。次に関わりが大きいのが「支える」かなと。そんな中で「する」の部分もオリンピック・パラリンピックに向けて展開していくというかたちで載せているので、「みる・支える・する」の順で掲載するようにしたのではないかと考えます。

○委員 5番の表題のところに「オリンピック・パラリンピック」という名前が出て来ているので、今の話を聞くと何となく分かりました。

○梅澤会長 一般的な生涯スポーツを考えたりする場合は「する・みる・支える」の考え方が大きいかと思いますが、オリンピックレベルになるとほとんどの人がそのレベルですることにはできないということで、「みる・支える・する」の順番だということで、御理解いただけたらと思います。

○委員 42 ページにある市民センターのコラムで、下から2行目の「仲間と一緒に体を動かし」の「体」についてですが、色々なところで「身体」と書いてカラダと読ませるところが多いと思って、その方が良いのかなと思ったんですけども。

○梅澤会長 「体」の表記についてですね。

○委員 漢字にするかどうかという部分だけなんですけれども。

○事務局 42 ページのコラムの中の下から2行目ですね。

○委員 ほかの部分が「身体」と記載しているのであればその方が良いと思いますし、「体」となっているのであればその方が良いと思います。

○梅澤会長 そうですね。整合性の問題かと思いますが。ほかのカラダという表記がどう書かれているか。

○委員 24 ページのコラム「職場で気軽にエクササイズ！」の最後の文章では「心も体も」ということで「体」になっています。

○委員 それであればそのままの表記で良いです。よく身体作りの講座を見た時に「身体」と書いてあることが多いなと思ひまして。

○梅澤会長 では、表記を統一して「体」と表記するということで。

○事務局 全体を確認させていただきまして、表記の統一をさせていただきます。

○委員 46 ページから 47 ページにかけてスポーツ推進委員についての記述があるんですけども、46 ページの「5年間の主な取り組み」の中の一番下に「・スポーツ推進委員をニュースポーツの指導者として地域へ派遣」ということで、現状はこれで良いと思うんですね。ただし、スポーツ推進委員というのはできれば地域で最低1人はいて、派遣という形ではなくて、地域でその人をスポーツ推進の中心にするという方が良いかと思います。そうすると今後の取り組みをどうするかという話になるかと思うんですが、47 ページの今後の主な取り組みで事業 No. 4-8にある「スポーツ推進委員活動の活性化」の取り組みの中で「・指導種目の幅や活動範囲を広げるため選出方法の検討」というものがあり、これは種目を広めるための選出となっていますけれども、ここに「地域での選出」を考えると、各地区に漏れなくスポーツ推進委員がいるようになります。地域で選出をとというと、選べないということも出てくるかもしれませんが、各地域にいたほうが、盛り上がりも変わってくるかと思います。

○梅澤会長 やはり地域で1名以上いらっしゃる方が望ましいとは思いますが、47 ページの一番上のところに「・スポーツ推進委員の選任方法の検討を行うなど、各地域から選出されるよう努めるとともに」と書かれてはいますので。今委員にご指摘いただいたような意見は込められているかと思います。それは原則ですよ。

○委員 そこを方向性ではなくて取り組みの中に入れていただくと・・・

○梅澤会長 今後の主な取り組みなので、以前からもやられていることだと思うので・・・

○事務局 活動範囲を広げるということで、各地域から出ていただきたいという意味合いも含めてるところです。

○梅澤会長 よろしいでしょうか。ありがとうございます。今回で計画に関する審議は最後になります。全体で改めまして皆様から何か意見ございますでしょうか。

はい、ここで計画に関する審議は終了とさせていただきます。先程事務局からもお話がありましたように、12月7日に教育委員会に答申をする予定です。今日いただいたご意見を事務局に反映していただき、その確認は私に一任していただくというかたちでよろしいでしょうか。

○委員 はい。

○梅澤会長 ありがとうございます。では事務局から出されたものを私の方で再度チェックをし、答申とさせていただきます。なお答申の当日ですが、私が勤務の関係でどうしても外すことができないため、お伺いすることができません。これにつきましては、事前に両副会長に相談をさせていただいておまして、当日お願いをしたいと思っております。ご多忙のところ誠に申し訳ございませんが、どうぞよろ

しくお願いいたします。その他事務局から何かございますでしょうか。

○事務局 お手元に官報を配布させていただいておりますが、来年八王子市体育協会が名称を変更することに伴いまして、八王子市民体育大会についても名称の変更を今後検討していきたいと考えておりまして、皆様からご意見を頂戴したいと思っております。これに関する例としましては、官報の下段中程に、スポーツ基本法の一部を改正するという中に、スポーツ基本法が一部改正され、平成35年1月1日に、「国民体育大会」は、「国民スポーツ大会」へと名称変更することとなっております。八王子市体育協会が名称を変更するという事は、一つの大きな節目ということもございまして、見直しを検討する機会であると考えております。皆さまの御意見をお伺いできればと思いますので、よろしくお願いいたします。

○梅澤会長 今まで市民体育大会と呼ばれていたものを名称を変更した方が良いのでは、それについて皆様からご意見を伺うことですが、いかがでしょうか。

○委員 ぜひ市民スポーツ大会にしていただくのが良いかと思えます。

○委員 スポーツの方が身近な感じがしますよね。

○梅澤会長 皆様よろしいですかね。では、市民体育大会は市民スポーツ大会という名称変更に向けて進めるということで。

○事務局 それでは検討を進めさせていただきます。

○委員 総合という言葉を入れて、市民総合スポーツ大会が良いかと思えます。

○事務局 はい。スポーツが体育の枠を越えた言葉であるという認識が今広がっているという事。またもう一つはスポーツが学校体育の枠を越えて広がっている実態に合わせた変更という事で、市としてもその方向で検討していきたいと考えており、ご意見を伺わせていただきました。

○梅澤会長 では名称変更の方向性を皆さんに伺ったということで。

○事務局 はい。変更の方向で検討を進めさせていただきます。

○梅澤会長 そのほかご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。以上で、本日の案件は全て終了いたしました。今後の審議会の日程についてですが、次回、第6回は来年3月の開催を予定しております。皆さまには後日、通知いたしますが、ご承知おきください。以上で、本日のスポーツ推進審議会を閉会いたします。

【午後 8 時 42 分閉会】

---

上記会議録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市スポーツ推進審議会会長

八王子市スポーツ推進審議会委員